

| | | | | | | | | | |
|---------------|--|---------|------------|---|-----------------|--------|------------------|------|-----|
| 科目名称 | ボランティア実践Ⅰ | | | | ビジネス・キャリア | (○) | オフィス情報 | (○) | |
| 英文科目名称 | Volunteer StudiesⅠ | | | | グローバル・コミュニケーション | (○) | 医療事務・医療秘書 | (○) | |
| 科目コード | 534119 | 授業形態 | 実習 | 単位数 | 2 | | | | |
| 教員氏名 | | 年次配当 | 1年次 | 通年 | | ホテル・観光 | (○) | 大学編入 | (○) |
| 実務経験教員担当 | 有・ (無) | | アクティブラーニング | | (有) ・無 | | | | |
| 授業概要及び授業方法 | 「ボランティア精神・活動」に関する理論を学びながら、実践の場に参加していくことで経験値を深めることができるように授業をバランスよく構成する。「ボランティア活動報告書」を作成する過程において、自己と対峙しながら人間力をも養うことができるよう指導する。ボランティア活動では、学生は子どもや高齢者、障がい者と交流し、コミュニケーションを図る。 | | | | | | | | |
| 関連する科目 | ボランティア実践Ⅱ | | | | 卒業認定(学習成果)との関連 | | ①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥ | | |
| 授業計画 | (前期) <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション - 授業規則、ボランティア活動の意義 2. コミュニケーションと人間関係講座 3. 障がい者、高齢者支援活動の実態と活動参加心得 4. 5月の週末の活動の内容や情報、活動の前の問題点や悩みについて交換 5. 5月のこども文化センター訪問・子どもの宿題を手伝う 6. 5月の高齢者ホームの訪問・高齢者との交流、施設の日課を手伝う 7. 5月の福祉会の訪問・障がい者との交流、障がい者の介助、施設の日課を手伝う 8. 6月の週末の活動の内容や情報、活動の前の問題点や悩みについて交換、ゲストスピーカー 9. 6月のこども文化センター訪問・子どもの宿題を手伝う 10. 6月の高齢者ホームの訪問・高齢者との交流、施設の日課を手伝う 11. 6月の福祉会の訪問・障がい者との交流、障がい者の介助、施設の日課を手伝う 12. 7月の週末の活動の内容や情報、活動の前の問題点や悩みについて交換、ゲストスピーカー 13. 7月のこども文化センター訪問・子どもの宿題を手伝う 14. 7月高齢者ホームの訪問・高齢者との交流、施設の日課を手伝う 15. 7月の福祉会の訪問・障がい者との交流、障がい者の介助、施設の日課を手伝う (後期) <ol style="list-style-type: none"> 16. 10月の週末の活動の内容や情報、ゲストスピーカー 17. 10月のこども文化センター訪問・子どもの宿題を手伝う 18. 10月の高齢者ホームの訪問・高齢者との交流、施設の日課を手伝う 19. 10月の福祉会の訪問・障がい者との交流、障がい者の介助、施設の日課を手伝う 20. 11月の週末の活動の内容や情報、活動の問題点や悩みについて交換、ゲストスピーカー 21. 11月のこども文化センター訪問・子どもの宿題を手伝う 22. 11月の高齢者ホームの訪問・高齢者との交流、施設の日課を手伝う 23. 11月の福祉会の訪問・障がい者との交流、障がい者の介助、施設の日課を手伝う 24. 12月の週末の活動の内容や情報、活動の前の問題点や悩みについて交換 25. 12月のこども文化センター訪問・子どもの宿題を手伝う 26. 12月の高齢者ホームの訪問・高齢者との交流、施設の日課を手伝う 27. 12月の福祉会の訪問・障がい者との交流、障がい者の介助、施設の日課を手伝う 28. 1月と2月の週末の活動の内容や情報、活動の前の問題点や悩みについて交換 29. ボランティア年間活動の紹介ポスターの作り 30. 「ボランティア活動記録票」と「ボランティア年間活動報告書」の細目説明 | | | | | | | | |
| 授業時間外の学習 | 上記の授業で参加するボランティア活動以外にも週末に行われるイベントがあり、教員が認めたものであれば正規のボランティア活動として認められる。履修生は上記の授業内のボランティア活動に加え、週末に行われるボランティアイベントにも最低30時間、参加しなければならない。 | | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | ボランティア活動を通して「自分は社会の重要な構成員の1人である」と実感させることで、これからの地域社会活動に積極的に取り組む姿勢が生まれる。さらには社会的弱者に対する思いやりを深め、生涯通して持つべき規範意識を高めることを目標とする。子どもや高齢者、障がい者との交流を通じ、高いコミュニケーション能力を身につける。 | | | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 毎月、第1週の授業において、週末の活動内容を報告し、活動の問題点や悩みについて情報・意見交換を行う。 | 評価方法・基準 | | 施設訪問の参加、講演のレポート提出＝40%、学外ボランティア活動の時間数＝40%、学年末レポート＝20% 評価基準は到達目標に基づく | | | | | |
| テキスト | 担当教員の作成した教材 | | | | | | | | |
| 参考書 | 介護職員基礎研修テキスト 第4巻 コミュニケーション技術 介護職員基礎研修テキスト 第5巻 コミュニケーション技法と介護技術 編集：介護職員関係養成研修テキスト作成委員会 発行：一般財団法人 長寿社会開発センター | | | | | | | | |
| 備考 | 特になし | | | | | | | | |